

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	36	4	次の公立校受験 ^{がんば} も頑張るぞ！	次の公立校受 検 ^{がんば} も頑張るぞ！
2	43	脚注	<div>20</div> <div> <div> <div>①国体</div> <div>毎年開催^{かいさい}される日本国内最大の総合スポーツ大会。</div> </div> <div>43</div> </div>	<div>20</div> <div> <div> <div>①国体</div> <div>毎年開催^{かいさい}される日本国内最大の総合スポーツ大会。二〇二四年（令和^{れいわ}六年）に「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に名称^{めいしょう}が変更^{へんこう}された。</div> </div> <div>43</div> </div>
3	118	1	樋井 ^{ひ い} 川 ^{かわ}	樋井 ^{ひ い} 川 ^{かわ}
4	150	4	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
5	150	4	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉
6	150	9	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉
7	150	10	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉
8	150	脚注	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉
9	150	脚注	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
10	150	脚注	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉
11	150	脚注	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉
12	151	18	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉
13	151	脚注	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉
14	151	脚注	〈添付別紙 1 参照〉	〈添付別紙 2 参照〉

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
15	196	下段 2	「地球上では、	<u> </u> 「地球上では、
16	197	下段 1	「昔から災害などが	<u> </u> 「昔から災害などが
17	197	下段 10	「プロジェクトに	<u> </u> 「プロジェクトに
18	198	中上	〈添付別紙 3 参照〉	〈添付別紙 3 参照〉

原文

滝沢ななえさんは、一九八七年（昭和六十二年）九月二十二日、東京都三鷹市に生まれました。母親のえいきょうで小学校二年生からバレーボールを始め、強豪の高校へ進学。二〇〇六年、高校を卒業し、プロの世界へ。二〇一三年に現役引退。現在は、フィットネストレーナーとして活躍しています。

「もしかしてき、ななえって女の子が好き？」

昔から恋愛のなやみを相談してきた親友から突然聞かれたのがきっかけで、滝沢さんは、自分が女性を好きなことを打ち明けたといいます。

滝沢さんが自らセクシャル・マイノリティであると感じ始めたのは、二十二歳のときでした。テレビドラマを見て、トランスジェンダーの存在を知ったのがきっかけでした。それまでは、

「男性とお付き合いしたこともありましたが、好きにはなれませんでした。私は人のことを好きになれないのかな？」と思い、真剣に調べたときもありました。」と語っています。

そんな中で見つけた、SNSのセクシャル・マイノリティのコミュニティで情報交換をしていく

うちに女性とお付き合いすることになり、相手が女性であれば恋愛ができることに気づきました。そこで、自分自身がセクシャル・マイノリティであることを確信したといいます。

滝沢さんは二〇一三年に現役を引退後、バレーボールのコーチとして働いていました。そのころ、当時のパートナーとの間で、同居の話が持ち上がりました。いっしょに住むのであれば、きちんとけじめをつけたいと思い、滝沢さんは「母親に本当のことを言おう。」と決めました。

とはいえ、いきなり顔を見て話す勇氣は出ませんでした。考えた末、スマートフォンを手に取り、メッセージを送りました。

「実は私は同性愛者です。パートナーの子といっしょに住むことになりました。」

返事は、すぐに返ってきました。「そうなんだね。いっしょに住むのであれば、あなたに覚悟が必要だし、相手に対する責任もちやんともちなさい。」

滝沢さんは、電話がかかってきて、あれこれ言われたらどうしようかと思っていたので、ほっとしました。言葉は少なかったけれど、不安に感じることは全くありませんでした。母なりにちゃんと、受け止めてくれたのだと感じました。

しかし、兄弟姉妹には、彼女を「いっしょに住んでいる友達」と紹介していました。滝沢さんは、複雑な思いでいっぱいでした。日を追うごとに自分の彼女をパートナーとしてあつかってほしいという気持ちをいだくようになりました。

数年後、滝沢さんは、パーソナルトレーナーに転身。経験を積み、仕事が軌道に乗る中、改めてセクシャル・マイノリティであることに向き合う機会がありました。

当時、所属していたジムの代表に、

「トレーナーとしては軌道に乗ってきたし、この仕事以外にも何かできるといいよね。」

と言われたのです。そのとき、滝沢さんは、「私にしかできないことって何だろう。」と考えました。ちょうど同じタイミングで、テレビ番組出演のオファーが届きました。取材の流れで、彼女がいると伝えると、



バレーボール選手としてプレーしていたころの滝沢さん。

①セクシャル・マイノリティ
自分の性の認識や、自分が好きになる相手の性などが、多数派とは異なる人々のこと。

②トランスジェンダー
身体的な性と心の性が異なる人々のこと。

③パーソナルトレーナー
運動などの指導を付ききりで行うトレーナー。

滝沢ななえさんは、一九八七年（昭和六十二年）九月二十二日、東京都三鷹市に生まれました。母親のえいきょうで小学校二年生からバレーボールを始め、強豪の高校へ進学。二〇〇六年、高校を卒業し、プロの世界へ。二〇一三年に現役引退。現在は、**①** パーソナルトレーナーとして活躍しています。

「もしかしてき、ななえって女の子が好き？」

昔から恋愛のなやみを相談してきた親友から突然聞かれたのがきっかけで、滝沢さんは、自分が女性を好きなことを打ち明けたといいます。

滝沢さんが自らセクシャル・マイノリティであると感じ始めたのは、二十二歳のときでした。テレビドラマを見て、トランスジェンダーの存在を知ったのがきっかけでした。それまでは、

「男性とお付き合いしたこともありましたが、好きにはなれませんでした。私は人のことを好きになれないのかな？ と思い、真剣に調べたときもありました。」と語っています。

そんな中で見つけた、SNSのセクシャル・マイノリティのコミュニティで情報交換をしていく

うちに女性とお付き合いすることになり、相手が女性であれば恋愛ができることに気づきました。そこで、自分自身がセクシャル・マイノリティであることを確信したといいます。

滝沢さんは二〇一三年に現役を引退後、バレーボールのコーチとして働いていました。そのころ、当時のパートナーとの間で、同居の話が持ち上がりました。いっしょに住むのであれば、きちんとけじめをつけたいと思い、滝沢さんは「母親に本当のことを言おう。」と決めました。

とはいえ、いきなり顔を見て話す勇氣は出ませんでした。考えた末、スマートフォンを手に取り、メッセージを送りました。

「実は私は同性愛者です。パートナーの子といっしょに住むことになりました。」
返事は、すぐに返ってきました。
「そうなんだね。いっしょに住むのであれば、あなたに覚悟が必要だし、相手に対する責任もちやんともちなさい。」

滝沢さんは、電話がかかってきて、あれこれ言われたらどうしようかと思っていたので、ほっとしました。言葉は少なかったけれど、不安に感じることは全くありませんでした。母なりにちゃんと、受け止めてくれたのだと感じました。

しかし、兄弟姉妹には、彼女を「いっしょに住んでいる友達」と紹介していました。滝沢さんは、複雑な思いでいっぱいでした。日を追うごとに自分の彼女をパートナーとしてあつかってほしいという気持ちをいだくようになりました。

数年後、滝沢さんは、パーソナルトレーナーに転身。経験を積み、仕事が軌道に乗る中、改めてセクシャル・マイノリティであることに向き合う機会がありました。

当時、所属していたジムの代表に、
「トレーナーとしては軌道に乗ってきたし、この仕事以外にも何かできるといいよね。」
と言われたのです。そのとき、滝沢さんは、「私にしかできないことって何だろう。」と考えました。ちょうど同じタイミングで、テレビ番組出演のオファーが届きました。取材の流れで、彼女がいると伝えると、



バレーボール選手としてプレーしていたころの滝沢さん。

① パーソナルトレーナー
運動などの指導を付ききりで行うトレーナー。

② セクシャル・マイノリティ
自分の性の認識や、自分が好きになる相手の性などが、多数派とは異なる人々のこと。

③ トランスジェンダー
身体的な性と心の性が異なる人々のこと。

(別紙 3)		図書の記号・番号		002-92
原 文		訂 正 文		
<div>朗読音声</div> <div>ワークシート</div> <div>Web サイト</div> <div>資料</div> <div>VR VR 映像</div> <div>心情円</div> <div>映像</div> <div>他教科リンク</div>		<div>朗読音声</div> <div>ワークシート</div> <div>資料</div> <div>VR VR 映像</div> <div>心情円</div> <div>映像</div> <div>他教科リンク</div>		

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	41	7	むすこ 息子	むすこ 息子
2	42	11	足 <u>元</u>	足 <u>もと</u>
3	140	14	あしもと <u>足下</u>	<u>足もと</u>
4	140	14	足 <u>下</u>	足 <u>もと</u>
5	153	6	認知度	にんちど 認知度